

【別紙】はじめにお読みください

■平成 30 年度犬山市総合計画審議会の開催趣旨について

開催趣旨は →

- ・ 第 5 次犬山市総合計画改訂版策定からおよそ 2 年が経過しました。
- ・ 現在の状況を確認の上、委員の皆さまから意見・提案・助言をいただきたいと考えています。
- ・ 会議内容を各課にフィードバックして次年度以降の事業推進に役立てます！（PDCA の実践）

■第 5 次犬山市総合計画改訂版（総合計画、総計）とは

総合計画は、市のまちづくりを進める上で、最も基本となる長期計画です。

『第 5 次犬山市総合計画』の計画期間は平成 23 年度～平成 34 年度までの 12 年間となっていました。

しかし、

- ①人口減少時代に対応するため、目標人口の見直しが必要
- ②社会情勢の変化等により、計画の見直しが必要
- ③中間期での計画の進捗状況等を踏まえた個別施策の見直しが必要

といったことから、平成 28 年度に中間見直しを行い、『第 5 次犬山市総合計画改訂版』（計画期間：平成 29 年度～平成 34 年度）を策定しました。見直しの際には、平成 27 年度に策定した『いいね！いぬやま総合戦略』（下記参照）の考え方を踏襲しています。

施策の全体像（※ 2）として、目指すまちの姿である、「人が輝き地域と生きる “わ” のまち 犬山」を実現するため、市民の皆さんと行政が共に実施していく、すべての取組みを表しています。構成としては、113 の個別施策を 39 の基本施策に分類し、10 のまちづくり宣言として取りまとめています。これら全ての施策を、漏らすことなく総合的に実施していくことが重要です。さらに、計画期間の残り 6 年間の中で、特に重点的に進めていくことが必要と考える 3 つの重点施策を設定し、今、犬山市に必要なメリハリのある計画としました。

※ 総合計画_本冊 P32・33 ページ参照

■いいね！いぬやま総合戦略（総合戦略、戦略）とは

まち・ひと・しごと創生法では、少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、まち・ひと・しごと創生（※）に関する施策を総合的かつ計画的に実施するため、市町村は市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略を定めるよう努めなければならないとされています。

こうした背景から、取り組むべき課題を「人口減少」と「地域経済の縮小」に絞って策定した戦略が『いいね！いぬやま総合戦略です。』

※ まち・ひと・しごと創生 … 以下を一体的に推進すること。

まち … 国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域
社会の形成

ひと … 地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保

しごと … 地域における魅力ある多様な就業の機会の創出

■各調査票の説明と主な状況

調査票1「第5次犬山市総合計画改訂版目標指標一覧表」

(1) 調査票の説明

総合計画には、計画終期における目標指標が掲載されています。本表は、目標指標の現時点での達成状況を確認するための一覧表です。目標指標に、アンケート調査結果を用いているもののうち、総合計画改訂後にアンケート調査を実施していない指標は本表に掲載していません。

(2) 用語解説（抜粋）

番号	用語	解説
①	宣言	総合計画に掲載されている「10のまちづくり宣言」（総合計画_本冊 P24 参照）を記載しています。
②	施策	総合計画に掲載されている113の個別施策名を記載しています。 （総合計画_本冊 P32 参照）
③	目標指標	総合計画に掲載されている目標指標です。各指標の解説は別紙「参考資料 調査票1 目標指標の解説」をご覧ください。
④	主担当課	施策によっては複数の課が担当するものがありますが、ここでは主な担当課のみを記載しています。
⑦	当初	第5次総合計画策定時（2011（H23）年度）における直近の値です。
⑧	実績値	第5次総合計画改訂時（2017（H29）年度）における直近の値です。
⑨	目標値	計画期間終期（2022（H34）年度）における目標値です。
⑩	平成30年度末時点（見込み）	2018（H30）年度末時点における見込みの数字です。（今後変動する可能性があります。）
⑪	目安値	2018（H30）年度末時点における目安の数字です。事業によっては一時期に集中するものがありますが、進捗状況を確認する上で、一つの目安となる数字です。 <算出方法> 例：整理番号1 健康づくり応援参加宣言参加人数 $\begin{aligned} \text{目安値} &= (\text{目標値} - \text{実績値}) \div (\text{目標値の時点} - \text{実績値の時点}) \\ &\quad \times \text{実績値の時点からの経過年数} + \text{実績値} \\ &= (5,000 - 4,016) \div (2022 - 2015) \times 3 + 4016 \\ &\doteq 4438 \end{aligned}$

(3) 結果概要

- ・アンケート結果等を用いているものを除く163の目標指標を掲載しています。
- ・目安値を達成している指標は72件 [44.2%]。（昨年比-4.5%）
- ・目安値は達成していないが、目安値の90%以上に達している指標は36件 [22.1%]。
- ・宣言別の達成状況は次頁のとおりです。

宣言		達成率
1	健康市民であふれるまちをつくります！	40.00%
2	自主財源の確保に向けた行政改革を進めます！	80.00%
3	市民と行政が一体となりまちづくりに取り組みます！	20.00%
4	まちなにぎわいと活力をもたらす産業を盛り上げます！	37.50%
5	誰もが安心して暮らせるまちをつくります！	33.33%
6	災害や犯罪などに対する地域の安全性を高めます！	39.13%
7	環境と調査したまちをつくります！	47.06%
8	快適な暮らしを支える都市基盤を整えます！	55.00%
9	豊かな心と生きる力をはぐくむ教育を実現します！	55.56%
10	誰もが愛着をもてるまちをつくります！	44.44%

調査票 2 「総合計画改訂版重点施策実施事業一覧表」

(1) 調査票の説明

総合計画改訂版では、メリハリのある計画とするために「3つの重点施策」を設定しています。本表では、重点施策に関連する事業の実施状況を記載しています。

(2) 用語解説（抜粋）

番号	用語	解説
①	重点施策名	総合計画に掲載されている「3つの重点施策」（総合計画_本冊 P34・35 参照）を記載しています。
②	施策	「3つの重点施策」内に掲載されている項目（総合計画_本冊 P34・35 参照）を記載しています。
③	該当する 総合計画の 基本施策番号	上記「②施策」に該当する基本施策番号と施策名を分類しています。
④	記載箇所	上記③の基本施策について、取り組む事業内容を記載している場所を記載しています。

(3) 結果概要

○全 38 項目の実施状況は下記のとおりです。

未着手	1 件
実施中	37 件
完了	0 件

※ 「完了」が0件となっていますが、実施内容が「～の推進」、
「～の拡充」となっているものが多く、計画期間後も継続すべき事業が多いため、「実施中」が多くなっています。

○未着手としている「既存ストックの活用（空き家、空き地、遊休農地、公共施設等）」（地域安全課担当分）については、平成 31 年度から実施予定です。

調査票3「総合戦略関連事業進捗状況一覧表」

(1) 調査票の説明

総合戦略に記載している個別事業（総合戦略_本冊 P26 参照）の進捗状況の一覧表です。

第5次総合計画改訂版は、いいね！いぬやま総合戦略を踏襲したものとなっているため、本会議に取り上げさせていただきました。

(2) 用語解説（抜粋）

番号	用語	解説
①	分野	戦略に記載された個別事業を分野毎に体系化しています。
②	主な事業	総合戦略に記載された40の重点事業と16の個別事業を掲載しています。頭に「★」が付いているものが重点事業、付いていないものが個別事業です。総合戦略_本冊 P26～P28 参照)

(3) 結果概要

○全56事業の実施状況は下記のとおりです。

未着手	2件
実施中	52件
完了	2件

※ 「完了」は2件しかありませんが、調査票2と同様に、実施内容が「～の推進」、「～の拡充」となっているものが多く、計画期間後も継続すべき事業が多いため、「実施中」が多くなっています。

○未着手事業は下記のとおりです。

- ・★奨学金補助で犬山就労定住促進！事業(基本目標「活躍したいまちがある」定住促進)
→就労定住促進事業としての費用対効果や国の動向を考慮して、早期の制度創設は見送り
- ・★観光戦略会議の開催(基本目標「訪れたいまちがある」観光振興)
→平成31年度より着手予定

○完了事業は下記のとおりです。

- ・★教育委員会基本条例制定(基本目標「活躍したいまちがある」教育)
- ・★教育に関する大綱の策定(基本目標「活躍したいまちがある」教育)

4. 調査票4「地方創生交付金関連事業KPI一覧表」

(1) 調査票の説明

市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略（=いいね！いぬやま総合戦略）に位置付けられた事業の実施に要する費用に充てるため、国は地方創生関連の交付金を創設しています。

ここでは、現在、犬山市が実施している地方創生交付金関連事業の内容と、その進捗状況を記載しています。

○交付金の種別ごとの内訳

①	地方創生推進交付金	4件
②	地方創生拠点整備交付金	1件

②の「シルバーと若者が農で大活躍！農業活性化プロジェクト」は平成29年度に拠点整備を実施しました。その後は①にある「「農」あるシルバーは地域を救う！若者と共に農業で大活躍プロジェクト」として事業を実施しています。

(2) 用語解説（抜粋）

番号	用語	解説
④	KPI	地方創生関連の交付金を申請するにあたって作成した各種計画に掲載したKPI（重要業績評価指標。目標の達成度合いを図る定量的な指標のこと。）を記載しています。
⑤	結果（数値） H30	H30年度末時点における見込みの数字を記載しています。

(3) 結果概要

○KPIとして設定しているものは、全体で18項目あります。うち2項目はH30年度の指標値が「0（ゼロ）」となっています。この2項目を除外すると、16項目のうち11項目（68.6%）が指標値を達成する見込みとなっています。

○全5事業のうち、KPIを全項目達成した事業は2事業ありました。

○KPIを達成できていない項目があるものの、地方創生交付金関連事業全体としては概ね当初の計画どおり進められており、事業の実施により総合戦略の着実な推進が図られているものと判断します。